

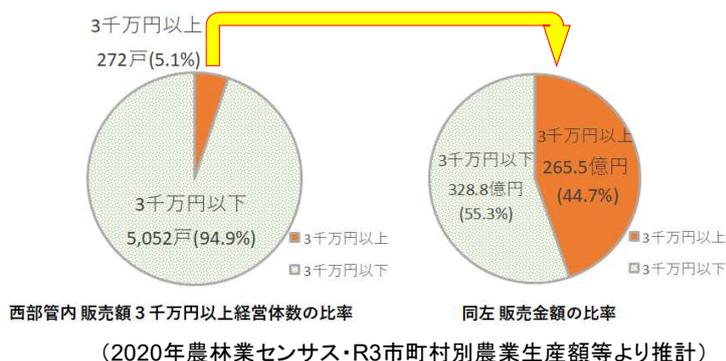
西部地域の園芸・畜産を担う中核経営体の生産体制の強化

活動期間：令和5年度

○ 取組の背景

- ・西部地域の農業者数は年々減少し続けており、今後も大きく減少する見込み。
- ・農業経営の規模拡大が進み、管内約5%の売上3千万円以上の経営体が農業産出額の45%を担っている。

⇒ 農業経営の規模拡大を加速することにより
地域農業の維持・発展を図る。



○ 課題・目標

【課題】 個別農業の生産力強化

- ・経営発展意欲の高い経営体を支援
- ・支援対象に施設整備や機械導入等の支援を行うことで生産性を高め、収益性の向上による経営の安定化を図る

重点支援経営体 136経営体

* 内訳：野菜66、畜産41、花き29

【目標】

農業産出額 R1:554億円⇒R7:634億円
(参考：R3:592億円)

⇒ 増加額のうち支援対象で大半を担う

普及指導員の活動

◎ 個別経営体支援の全体像

◎ 農業経営体：約5,000経営体

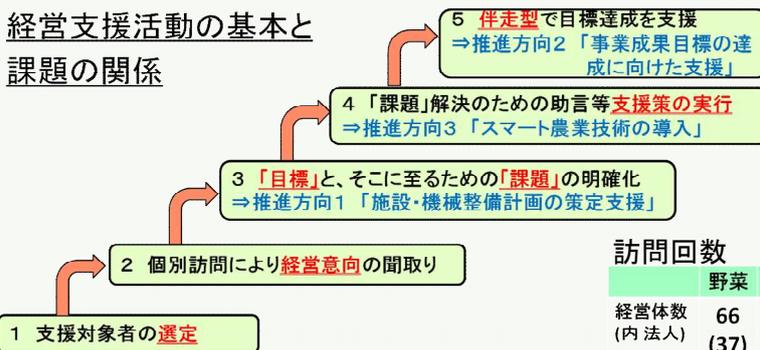
- ・産地支援
 - ・要請活動
- 経営発展意欲の高い個別経営体を抽出

重点支援経営体 168経営体

| | | | | |
|------------|----|----|----|----|
| 普及課題136経営体 | | | | |
| 水田 | 茶 | 野菜 | 花き | 畜産 |
| 10 | 22 | 66 | 29 | 41 |

計画達成

経営支援活動の基本と課題の関係



訪問回数

| | 野菜 | 花き | 畜産 | 合計 |
|---------------|------------|------------|------------|-------------|
| 経営体数 (内法人) | 66 (37) | 29 (10) | 41 (26) | 136 (73) |
| 訪問回数 | 249 | 110 | 551 | 910 |

○ 推進方向1 「施設・機械整備計画の策定支援」

- 【成果目標】 計画の作成 5経営体
- 【支援対象】 野菜3、花き2経営体
- 【実行策】 施設・機械整備計画の策定支援
・経営計画、投資計画、栽培技術などを生産者と策定

施設・機械整備による生産規模拡大の状況

| 対象 | 作目 | 現状生産量 | 目標生産量 | 増加量 | 増加率 |
|----|----|---------|---------|--------|--------|
| ① | 野菜 | 540ト | 600ト | 60ト | 111.1% |
| ② | 野菜 | 4,932ト | 6,950ト | 2,018ト | 140.9% |
| ③ | 野菜 | 0ト | 56ト | 56ト | ∞ |
| ④ | 花き | 1,676千本 | 1,876千本 | 200千本 | 111.9% |
| ⑤ | 花き | 70千本 | 375千本 | 305千本 | 535.7% |

○ 推進方向2 「事業成果目標の達成に向けた支援」

- 【成果目標】 各事業成果目標の達成 7経営体
- 【支援対象】 野菜4、畜産3経営体
- 【実行策】 目標達成に向けて課題を洗い出し、解決策の実行を支援

具体的な支援の内容

| 対象 | 作目 | 主な支援内容 |
|----|----|------------------|
| ⑥ | 野菜 | 基盤整備、農地の集積・集約 |
| ⑦ | 野菜 | 化学肥料削減、農地の集積・集約 |
| ⑧ | 野菜 | データの活用による生産性向上 |
| ⑨ | 野菜 | 高単価・耐暑性品種の選定 |
| ⑩ | 畜産 | 生産環境改善による生産性向上 |
| ⑪ | 畜産 | 規模拡大に伴う余剰堆肥の流通 |
| ⑫ | 畜産 | 野菜農家との連携による飼料費低減 |

○ 推進方向3 「スマート農業技術導入の導入」

- 【成果目標】 新規導入経営体：13経営体
- 【支援対象】 重点支援経営体：野菜66、畜産41、花き29 計136経営体
- 【実行策】 対象136経営体へ情報提供と啓発、補助事業の活用推進

具体的な成果

○ 推進方向1 「施設・機械整備計画の策定支援」

■【実効策の成果】

機械・施設の整備事業計画の策定：(目標5)5経営体

<内訳>①施設整備 花き2経営体、野菜1経営体

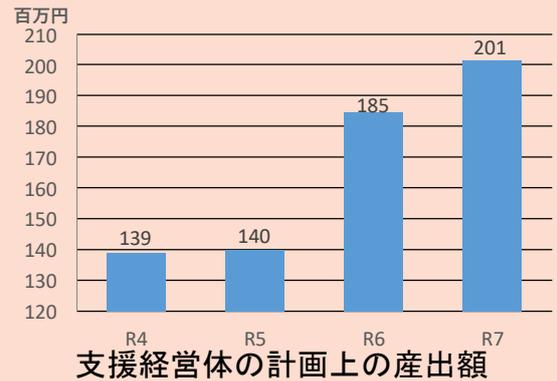
②機械導入 野菜2経営体

⇒策定した整備計画上の

増加産出額 62百万円



支援の様子



○ 推進方向2 「事業成果目標の達成に向けた支援」

■【実施内容】

・活用した補助事業の成果目標達成に向け、事業実施主体を支援：(目標25)109回

■【実効策の成果】

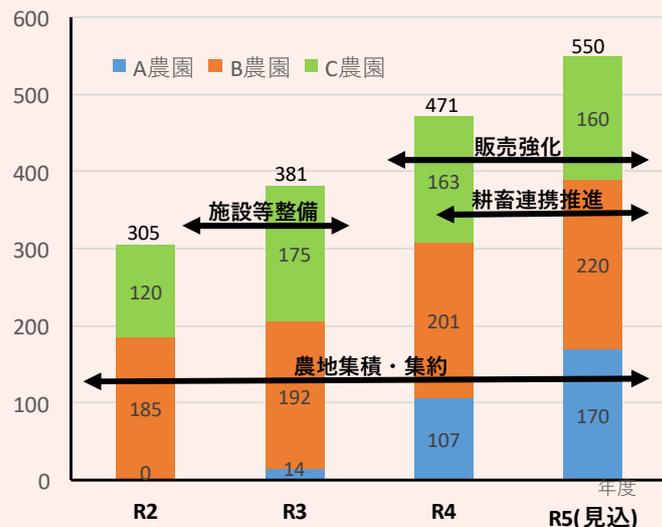
・事業成果目標の達成：(目標7)4経営体

※3経営体の未達成は、施設の本格稼働が遅れたためであり、次年度は達成の見込み

・R5年度の算出額は複数の大型施設が整備されたため大幅に増加

⇒増加額 824百万円(見込)

販売額(百万円)



【事例】支援経営体Aの販売額の推移と支援内容



○ 推進方向3 「スマート農業技術の導入」

■【実施内容】

・重点支援経営体136経営体への巡回訪問時における情報提供と啓発

■【実効策の成果】

スマート農業技術導入新規導入経営体数

⇒(目標10)12経営体

<内訳>・AI画像解析による収穫時期予測システム：1件(野菜1件)

・統合環境制御装置：2件(野菜2件)

・GPSトラクター：1件(野菜1件)

・農業用アプリ等：7件(野菜7件)

・哺乳ロボット：1件(畜産1件)



○AI画像解析による収穫予測
 ・AIにより収穫日や出荷量を予測
 ⇒収穫人数や流通先を事前に確保が可能となる
 ・開発メーカーと実証